

東京教区時報

第1171号
2010年6月27日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

53年前の秋の夕暮れでした。盲学校の寄宿舎にいた私は、夕食が終わると、いつものように読書会(寮母さんが子どもを集めて適当な物を読んでくださった)に行きました。

その日は「洗礼の子」というものでした。概略はこうでした。ある少年が受洗することになったのですが、あまりの貧しさのゆえに名親になり手がありませんでした。その少年は途方に暮れていました。そこにみすぼらしい老人が現れ、名親になることを買って出ました。私はその老人がイエスだと直ぐ分かりました。その時、私に電話がかかってきました。母からの電話で父の死亡が告げられました。外に出ると風が冷たく感じられました。既に父は神のみもとに召されたのだから、急いでも仕方がないと思ひ、バスと電車

《み手のなかで》

み心にゆだねて

執事 小野里俊一

で父の安置されている病院へ行きました。霊安室には聖アンデレ教会の石黒千秋伝道師と井原民子伝道師が駆けつけてくださいました。井原先生は私の手を握り続けておられました。もしその日、「洗礼の子」を聞いていなかったら私はどんなに心を取り乱していたことでしょう。中学3年生だった私がみ手の中に置かれていることを確信したときでした。神は色々な経験を通して私たちを導いてくださるのでしようが私にはこのようなことを通してお導きくださいました。くず折れてしまいうようなときにも、その出来事を思い出させられます。

最後に、み言葉の中で「わたしはあなたがたを決してみなしごにはしあておかない」と言っておられることが事実であると信じております。

(聖アンデレ教会勤務)

◇6月の代禱・信施奉献先
▽沖縄週間(6・20〜26)▽東京教区神学生のため(聖霊降臨後第2主日6・6)▽沖縄教区のため▽野宿生活者の休息施設のため(きぼうのいえ)▽エリザベスサンダースホームのため
▽聖バルナバ教会パイプオルガンに親しむ会 お話と演奏Ⅱ 佐藤礼子(同教会オーガニスト)。希望者は弾くことも可能。7月4日(日)14時。照会Ⅱ03(3268)8067・同教会。
▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂唱詠晩禱 聖公会の伝統的な夕べの礼拝。4日(日)16時。説教Ⅱ中村邦介司祭。指揮・オルガンⅡ岩崎真実子、同学院高校聖歌隊・同OG有志・

今週・来週の予定 6月27日~7月10日

- | | | |
|--------|--------------------------------------|--|
| 27 (日) | 聖霊降臨後第5主日
主教巡回
聖ペテロ教会 | 同礼拝堂聖歌隊などの奉唱。照会Ⅱ03(5370) 3038・ |
| 28 (月) | ハラズメント防止
委員会
日韓合同主教会(7/1 於濟州島) | 同学院キリスト教センター(月・火・木・金)。
▽浦安セミナー 横浜教区浦安伝道所主催、聖公会神学院・北総宣教協議会協力、キリスト教基礎講座。7月特別講座「あなたは「かわる」講師Ⅱ井口論司祭。①聴き方・話し方Ⅱ3日(土) ②過去と他人・今の自分Ⅱ17日(土) 各14時半〜16時。受講料Ⅱ2回千500円、1回800円。会場等照会Ⅱ047(354) 2516・同伝道所。 |
| 30 (水) | プレ宣教協議会準備会 | ◆とくしえの平安
5月30日 小野 正吾(94) 聖テモテ
6月9日 岡村 豊子(98) 聖アンデレ
6月9日 北浦 和子(87) 聖愛 |
| 7月 | | |
| 1 (木) | 下町G 牧師協議会 | |
| 2 (金) | 山手G 牧師協議会 | |
| 4 (日) | 聖霊降臨後第6主日
主教巡回
聖テモテ教会 | |
| 5 (月) | 分担金制度特別委員会 | |
| 6 (火) | 聖職養成委員会
主教選挙特別委員会 | |
| 8 (水) | 信仰と生活委員会 | |
| 9 (木) | 広報委員会 | |

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

◇第112(臨時) 教区会開催

16日付公示の通り(小紙20日号に掲載)、教区主教選出の臨時教区会が7月19日(月・休)9時、聖アンデレ主教座聖堂で開会聖餐式をもって開催される。主教選挙特別委員会主催「主教選挙候補者の推薦理由を聴く会」は去る12日(土)、80人の参加で開かれ2人の司祭が推薦された。同特別委員会は、主教選出教区会の開会時に自動的に解散する。

常置委員会報告(6月15日)

*5月総会で首座主教に植松誠主教を再選、常議員に笹森田鶴聖職・山田益男信徒両代議員を選出。24日(木)聖職試験公開説教を行う、など主教報告。

*月島聖公会牧師館・礼拝堂および聖ルカ保育園の工事業者を選

定。5月度財務諸表、掌握委員会

関係、プレ宣教協議会関係など、各主事等の諸報告を了承。

*横浜・東京両教区常置委員懇談会を開催(7月9日)。

*財務主事を通して財政委員会から提案された普通預金の一部を国債にする件を了承。

*聖公会神学院家族寮利用者の光熱費を教区負担とし、請求に応じて本人へ教区事務所へ手交。

*主教座聖堂牧師館屋上の防水工事費は利用者間の合意で案分。

*その他

▽「障がい者」関連活動連絡会主催《お話を聴く会》② 10日(土) 11時〜15時、聖バルナ

バ教会(昼食を共に)。「滝乃川学園成人部職員としてみたこと、

考えたこと」三浦真理(聖ルカ

礼拝堂信徒)、「ガイドヘルプの毎日からみてきたもの、考えたこと」大和孝明(清瀬聖母教会信徒)。参加費500円(他に昼食代500円)。照会☎042(37

1)8390 実務委員・小林。

▽聖三教会オルガン設置30年記念感謝礼拝 7月4日(日)10

時半。奏楽・指揮Ⅱスコット・シヨウ、奉唱Ⅱ立教大学諸聖徒礼拝堂聖歌隊。礼拝に続きミニコンサートも。照会☎03(3421)3646・同教会。

▽東関東・聖公会夏の合同家族

キャンプ 教区教会を超えて老若男女が清里清泉寮に集う恒例の企画。7月30日(金)〜8月1日(日)。申込期限7月4日。照会☎047(388)4070・甲藤。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】52

真光教会の歴史を訪ねる旅

真光教会が、人口の急増地であった町田市に東京教区から与えられた「新天地の伝道」という使命をもって移ってきたのは1973年でした。当教会は、日本におけるキリスト教禁制の高札が下ろされた2年後の明治8年(1875年)に、ウィリアムズ主教が東京という新天地で宣教活動を始められて、最初に創設された教会なのです。

真光教会では、今回創立135年を期して、その歴史資料を集めようということになり、また歴史を知る一助として、教会の跡地を訪れるツアーを企画し、5月20日に行ないました。

教会員のみならず、昔教会に

関係されていた方々を加え総勢30名はまず、最初に教会が建立された深川区西元町(現在の江東区常盤1丁目)の、隅田川をまたぐ旧新大橋たもとを訪れました。現在教会の跡は何も残ってはいません。しかしウィリアムズ主教に導きを受けた杉浦義道師がこの教会の初代牧師となり、その頃は教会活動の一環として、サマリタン病院と労働者矯風会という名の地域福祉活動があったことが判っています。

一行は次に、関東大震災後に移築した本所(現在の墨田区)菊川町の教会跡に歩いて移動し、ここに住んでおられた、第2代牧師・西村敬太郎司祭のご長男、西村敬郎氏から当時の説

明を受けました。ここには立派な聖堂があったのですが、1945年3月の下町大空襲で、完全に焼失しました。

次に訪れたのは湯島にある旧岩崎邸で、戦後ここに聖公会神学院と教務院(西村師は教務院長)があり、旧馬小屋を借りて真光教会の礼拝をしていたそうです。その後1953年になって赤羽駅近くの土地と家屋を買い取り(現在の北区西が丘)そこを改造して1973年まで教会活動を続けたのです。

この旅を通じて、参加した教会員一同は先人たちのご苦勞を知って、新しいエネルギーを得ました。

真光教会信徒

吉田昌夫